



トワダックとはなわんこの画像展示会

1月4日から16日にかけて、十和田図書館2階で「第67弾 トワダックとはなわんこから明けましておめでとうございませう」と題した展示会が行われました。

トワダックは十和田図書館、はなわんこは花輪図書館の市内図書館それぞれのマスコットキャラクターで、本の紹介や図書館イベントのPRをしています。

展示会では、これまでに使用された画像が壁一面をうめ、また、寅年にちなみ、寅の被り物をしたトワダックとはなわんこが新年の挨拶をして、来場者を楽しませました。



出荷ピーク到来 かつの啓翁桜出荷報告

1月11日に、かつの啓翁桜栽培グループの関係者が本格的な出荷を報告するため、関市長を訪れました。

啓翁桜は、温室で促成栽培することで冬に花を咲かせることが特徴の桜です。お祝いの行事の飾りに用いられてきましたが、コロナ禍における巣ごもり需要で、個人の観賞用としても人気が高まっています。

生産団体会長の佐藤さんは「少しずつかつの啓翁桜の名前が浸透してきた。今後も品質にこだわって、生産を進めていきたい」と話しました。



ボランティア功労者 厚生労働大臣表彰受賞

1月17日に、賀川満氏がボランティア功労者厚生労働大臣表彰を受賞され、関市長から表彰状が伝達されました。

賀川氏は、パソコンの楽しさや便利さを伝えようと市民団体を立ち上げ、高齢者や障がい者などに、操作体験会を行ってきました。さらに、インターネット鹿角のホームページでは、鹿角の状況を発信するイベントカレンダーの編集も手掛けています。

受賞を受けて、賀川氏は「パソコンは日々進化しており、今一度自分たちができることは何か考え、活動を再構築しながら今後も続けていきたい」と話していました。



飲食店組合連合会が寄付 児童図書への購入に活用

1月18日に、かつの飲食店組合連合会の田中強会長が関市長を訪れ、会員によるチャリティ事業の収益を市に寄付しました。

今回の寄付には、チャリティ事業の収益のほか、会員店舗で販売されているオリジナルのワクチン接種済み缶バッジの販売収益も含まれています。

飲食店組合連合会の田中会長は「児童図書の購入に活用してほしい」と話し、関市長は「読書は大変大事なことであり、ありがたい活用させていただく」と感謝の言葉を述べました。



小坂橋タイさん 百歳長寿を祝う

12月20日に、小坂橋タイさん（大正10年・岩手県生まれ）が満100歳の誕生日を迎えられ、市から顕彰状と祝い金を送られました。

小坂橋さんは、結婚を機に尾去沢で主婦として生活し、4人の子どもを育てました。現在は、施設で毎日体操に参加したり、週に3回のリハビリで体を動かしたりしています。また、食事は自分で食べ、完食しています。

長寿の秘訣は「好き嫌いく、何でも喜んで食べる」と話していました。



まちの話題



伝承される勇壮な舞 大日堂舞楽

1月2日に、ユネスコ無形文化遺産に登録されている大日堂舞楽が、八幡平地区のおおひるめむしんじの大日靈貴神社に奉納されました。

大日堂舞楽は、大日靈貴神社再建の際に、都から下向した楽人が舞った祝賀の舞楽が起源とされ、里人により1300年以上伝承されてきました。

大里、小豆沢、長嶺、谷内の4集落の舞い手が、地域の平安や五穀豊穡、無病息災を祈願し、7つの本舞を奉納しました。

今年は北東北三県（秋田県、岩手県、青森県）在住者に限定して公開され、厳かな雰囲気の中行われた勇壮な舞は、早朝から詰めかけた多くの観衆を魅了しました。



無火災を祈願 鹿角市出初め式

1月4日に、鹿角市消防出初め式が文化の社交流館コモッセと花輪商店街で開催され、参加した消防団員たちが防災への意識を新たにしました。

コモッセでの式典では、無火災を祈願する神事や功労者などの表彰が行われ、続いて、花輪の商店街では、まとい振りの披露や分列行進が行われました。

商店街の沿道には多くの市民が詰めかけ、団員の勇ましい姿に大きな拍手が送られました。



広報かつの「まちの話題」掲載写真は無料で提供しています。

このページに掲載している写真は、無料で提供しています。写真を希望される方は、お問い合わせください。（著作権などの関係で提供できない場合があります）

政策企画課 政策推進班
☎30・0205